



by Schneider Electric

3~16kVA サービスバイパスパネル

© 2009 APC by Schneider Electric. APC、APC ロゴおよび Smart-UPS の所有権は、Schneider Electric industries S.A.S.、American Power Conversion Corporation または両社の系列会社が保有します。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に所有権が帰属します。

990-1530B

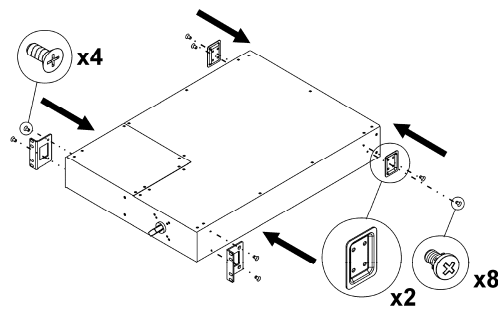
注: 設置する前に「安全に関する注意事項」をお読みください。

注意事項: このユーザーズマニュアルに掲載されている図は、実際のハードウェアと多少異なっている可能性があります。

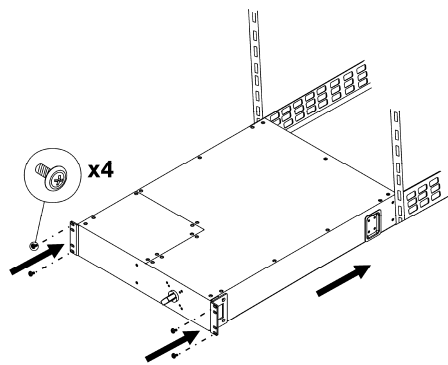
注意: この製品の使用環境には制限があります。使用環境に関する製品の仕様をご覧ください。

ラックにマウントする

①

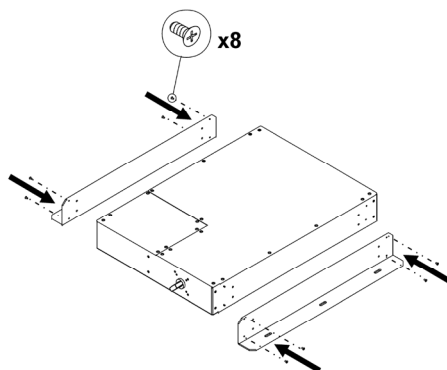


② ラックに SBP をセットします。ハードワイヤ接続が必要な場合は、ラックにねじ留めする前に、「電源の接続」を参照してください。

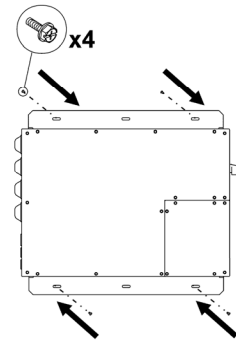


壁面にマウントする

①



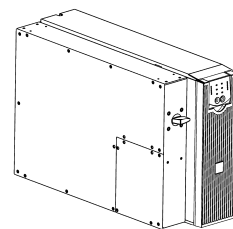
② できる限り、壁面用留め金具の上部と下部をそれぞれ 1 本のねじでねじ留めしてください。留め金具に取り付けることが不可能な場合は、拡張可能なウォールアンカーを使用してください。ねじは含まれません。 .25" x 2" ラグボルトを推奨します。



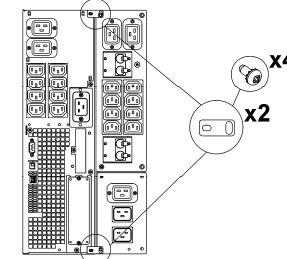
タワーオプション (Smart-UPS RT セットアップ用のみ)

① UPS と SBP の両方の背面上部および下部からねじを取り外します。締め付けブラケットを取り付け、ねじを再び取り付けます。

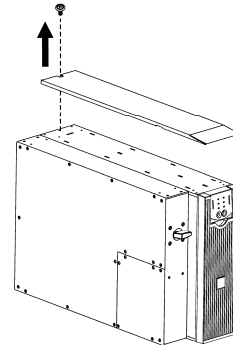
正面



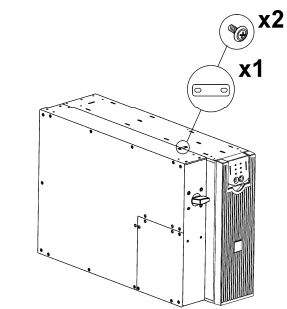
背面



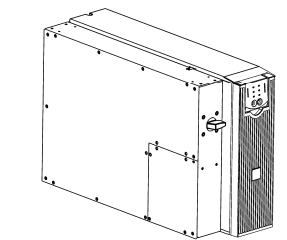
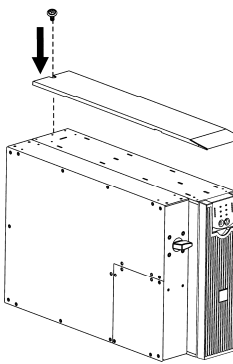
② ねじを外して、UPS の上部カバーを取り外します。



③ UPS および SBP の上部にブラケットを取り付けます。



④ UPS の上部カバーを再び取り付けます。

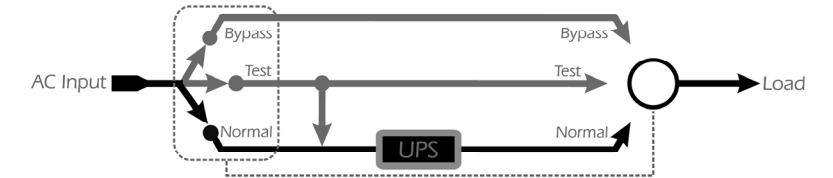


注: SBP5000RMI2U は、増設バッテリーパック (SURT192XLBP) なしで、SURT3000XLI または SURT5000XLI UPS と一緒にタワー型構成で使用する場合、コンクリートまたはそれ以外の表面が滑らかな不燃材の上に設置してください。

ユーザー設定可能項目

注意: オンライン UPS を使用する場合、SBP スイッチを回す前に、UPS を自動バイパスモードにします。

- 通常:** 電源は商用電源コンセントからバイパスパネルと UPS を通って、接続している負荷機器に導かれます。通常の UPS の運用中に使用します。
- テスト:** UPS に供給される電源は出力されません。UPS でテストを実行するときに使用します。接続された負荷機器にはまだ UPS から電力が供給されません。
- バイパス:** 商用電源コンセントからの電源は、バイパスパネルを通して接続された負荷機器までフィルタ処理されます。正常に動作しない場合、UPS のバイパスを使用します。



注: ‘テスト’ または ‘バイパス’ モードでの動作中は、接続された負荷機器への電源は UPS によって調整されていません。この時点では、“機器保護ポリシー”が有効ではありません。

パネルを識別する

サービスバイパスパネルには様々な種類があります。ユニットの仕様の表を参照してください。

注: HW= ハードワイヤ

サービスバイパスパネル	対応する UPS システム	バイパス入力	UPS 入力	UPS 出力	PDU パネル
SBP3000RM2U	100~120V Smart-UPS 3kVA	L5-30P	L5-30R	L5-30P	(2) 5-20R (6) 5-15R
SBP5000RMT2U	200/208/240V Smart-UPS 3~4.5kVA	L6-30P	L6-30R	L6-30P	(2) L6-20R (2) L6-30R
SBP5000RMI2U*	230V Smart-UPS 3~5kVA	C20/HW	C19/HW	C20/HW	(2) C19 (8) C13
SBP6KRMT2U**	200/208/240V Symmetra 2~6kVA	L6-30P/HW	L6-30R/HW	L6-30P/HW	(1) L6-20R (2) L6-30R
SBP6KRMI2U	230V Symmetra 2~6kVA	HW	HW	HW	(4) C19
SBP3000	100~240V Smart-UPS 3~5kVA (30A HW 入力/出力が使用可能)	HW	HW	HW	HW
SBP10KRMT4U	200/208/240V Smart-UPS RT 7.5~10kVA	HW	HW	HW	(3) L6-20R (3) L6-30R
SBP10KRMI4U	230V Smart-UPS LX 7.5~10kVA	HW (3Ph または 1Ph)	HW (3Ph または 1Ph)	HW	(8) C13 (2) C19
SBP16KP	200~240V Symmetra LX 4~16kVA	HW (3Ph または 1Ph)	HW (3Ph または 1Ph)	HW	HW
SBP16KRMI4U	220~240V Symmetra LX 4~16kVA	HW (3Ph または 1Ph)	HW (3Ph または 1Ph)	HW	(3) 30A HW
SBP16KRMP4U	200/208/240V Symmetra LX 4~16kVA	HW	HW	HW	(6) L14-30R
SBP16KRMP4U-HW	200/208/240V Symmetra LX 4~16kVA	HW	HW	HW	(1) L14-30R (3) L5-20R (1) 100A HW

*負荷が 3kVA を超える場合、ハードワイヤ接続が必要です。

**負荷が 5kVA を超える場合、ハードワイヤ接続が必要です。

電源を接続する

警告: プラグやコンセントを改造しないでください。SBP および UPS プラグとコンセントは一致する必要があります。詳しくは、APC にお問い合わせください。

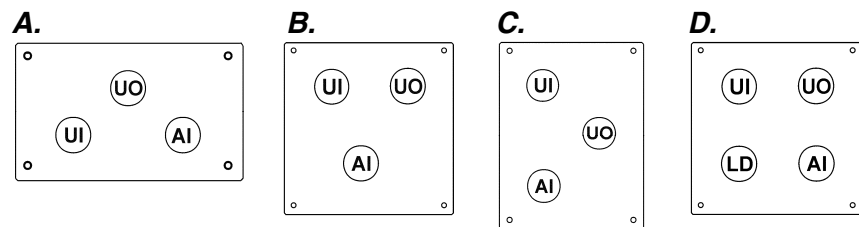
1. ハードワイヤ接続していないパネル

1. SBP UPS 出力コードを UPS PDU パネルに差し込みます。*
2. UPS 入力コードを SBP UPS 入力コンセントに差し込みます。*
3. お客様がご使用の機器を SBP PDU パネルに差し込みます。
4. SBP を商用電源コンセントに差し込みます。
*IEC コンセント付きのユニット: ジャンパケーブルを使用します。

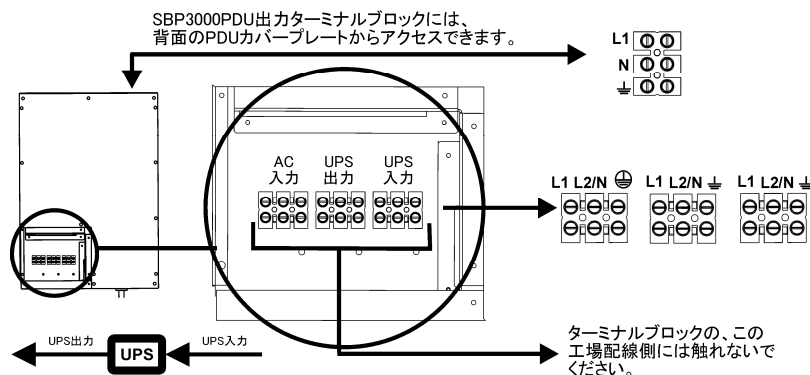
2. ハードワイヤ接続したパネル

注意: 配線は資格を持つ電気技術者が行う必要があります。

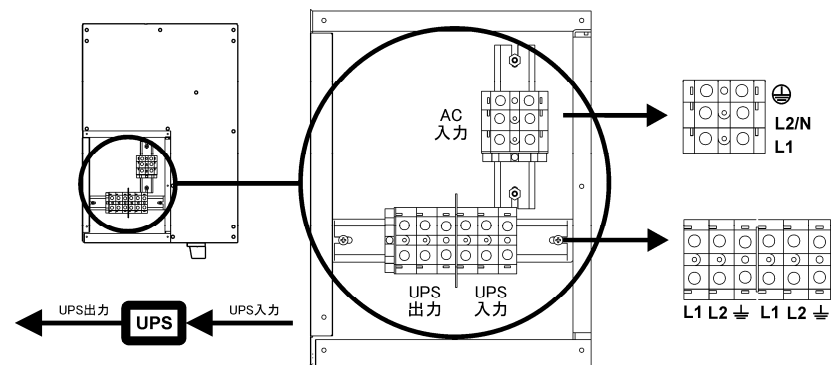
1. 入力側サーキットブレーカをオフに切り替えます。
2. ラックマウントされる SBP ユニット: SBP をラックにセットします。
3. ねじを外し、上部アクセスパネルを取り外します。
4. ハードワイヤ接続した UPS と SBP5000RMI2U または SBP6KRMT2U を使用する場合: ねじを外し既存のターミナルブロック配線を取り外します。工場配線には触れないでください(**E**を参照)。
5. ハードワイヤ接続した UPS と SBP5000RMI2U または SBP6KRMT2U を使用する場合: ねじを外し、背面の入力/出力パネルを取り外します。
6. ハードワイヤ接続している入力/出力パネルから円形のカバーを取り外します(**A**、**B**、**C**、**D**: UO= UPS 出力; UI= UPS 入力; AI= AC 入力; LD=負荷)。
SBP3000 ユニット: PDU 出力パネルのカバープレートも取り外します。
SBP16KP ユニット: PDU 出力パネルから、円形のカバーも取り外します。
7. ワイヤをターミナルブロックに接続します(**E**、**F**、**G**、**H**、**I**を参照)。国および地域の電気規制に従ってください。
8. アクセスパネルを再び取り付けます。
9. ハードワイヤ接続入力/出力パネルを取り付けます。
10. ラックマウントされる SBP ユニット: ラックに SBP をねじ留めます。



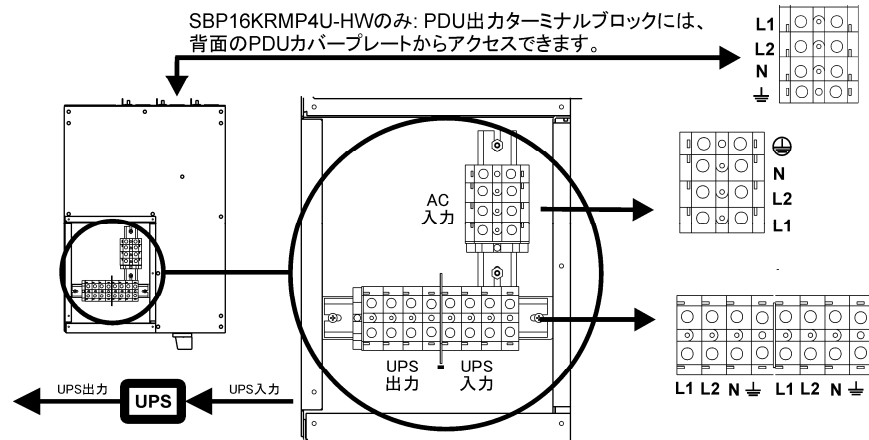
E. 2U パネル



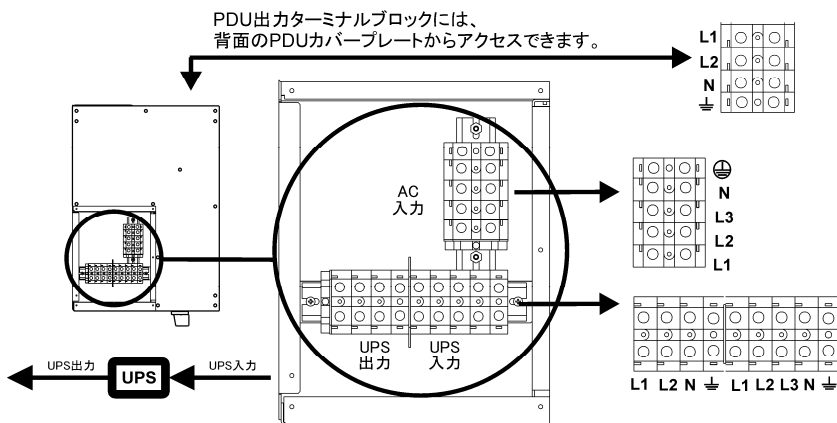
F. SBP10KRMT4U



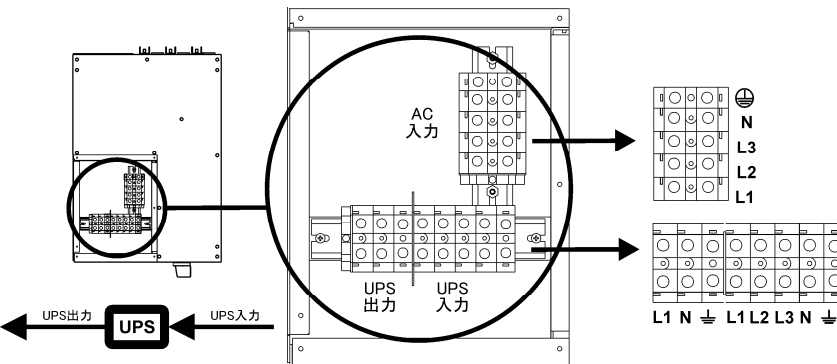
G. SBP16KRMP4U, SB16KRMP4U-HW



H. SBP16KP



I. SBP10KRMI4U, SBP16KRMI4U



トラブルシューティング

この表は SBP の設置の際に軽度の問題が発生した場合の対処方法をまとめたものです。同様に、UPS ユーザーズマニュアルの「トラブルシューティング」のセクションも参照してください。さらに複雑な問題に関しては、www.apc.com を参照してください。

問題と考えられる原因	対処方法
オンボタンが押されたにもかかわらず、UPS がオンにならない。	SBP ハンドルが「バイパス」位置にある。SBP ハンドルを「通常」位置に回してください。
UPS 入力で電力が供給されていない。	SBP と商用電源、および SBP と UPS 入力を接続している電源ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
UPS に不具合または故障がある。	SBP ハンドルを「テスト」位置に回してください。UPS に不具合がある場合、接続された負荷機器に電圧がかかりません。UPS ユーザーズマニュアルの「トラブルシューティング」を参照し、確認してください。
商用電源コンセントに電力が供給されていない。	SBP ハンドルを「テスト」位置に回してください。商用電源コンセントに不具合がある場合、接続された負荷機器に電圧がかかりません。疑わしいコンセントに電気スタンドを差し込むことで、商用電源をチェックできます。商用電源コンセントに差し込んだ電気スタンドのランプがつかない場合は、資格を持ったサービス担当者に連絡し、電源を復旧します。
UPS がオンラインである; 接続されているすべての機器に電源を供給していない。	
SBP 出力サーキットブレーカーが作動している。	接続機器を外し、負荷を減らしてください。ブレーカをリセットしてください。
SBP 出力に電力がない。	SBP と UPS 出力を接続している電源ケーブルが適切に差し込まれているか確認してください。

規制情報